

# 2008 ニッケレポート

第178期(平成19年12月1日~平成20年11月30日)

日本毛織株式会社



**NIKKE.**  
Group

## 人と地球に「やさしく、あったかい」企業グループとして、 わたしたちは情熱と誇りをもってチャレンジして行きます。

株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。ここに第178期(平成19年12月1日から平成20年11月30日まで)のニッケレポートをお届けするにあたり、ご挨拶をかね業績の概況をご報告申し上げます。

**当期における経済環境は**、前期から続く米国サブプライムローン問題や、原油・原材料価格の高止まりが企業収益を圧迫し、個人消費も低迷するなど、厳しい状況が続きました。また、当期の後半に発生した世界的な金融危機が実体経済へ影響を及ぼし、世界経済は一段と減速しました。

**このような情勢のなか**、当社グループは当期を最終年度とする「ニッケグループNN2008経営計画」に基づき、収益向上と持続的な成長を可能とする事業構造の構築に

向け取り組みを進めた結果、前期に引き続き連結売上高において1,000億円超を達成することができました。

**繊維事業におきましては**、販売価格の維持と新商品の開発提案などに取り組んでまいりましたが、景気の急変や原燃料・食料価格高騰の影響による衣料消費の減退が、業績を大きく圧迫しました。

**非繊維事業におきましては**、消費低迷の厳しい市場環境が続きましたが、ショッピングセンター事業が前期並みを維持し、更には通信関連事業の拡大、不動産事業や生活関連事業の積極的な展開を推し進めてまいりました。

**以上の結果**、連結売上高は1,017億円弱(前期1,028億円弱)、連結経常利益は69億円強(前期70億円余)、連結当期純利益は40億円余(前期44億円弱)となりました。



**配当金につきましては**、株主様の利益を重要な課題のひとつと考え、昨年より1円増配し、年間合計18円としております。昨年8月に中間配当金として1株につき8円お支払いいたしましたので、当期の期末配当につきましては、1株につき10円とさせていただきます。

**当社グループは**、「ニッケグループ中長期ビジョン（NN120ビジョン）」の実現に向けて「NN120第1次（2009～2011）中期経営計画」を策定しておりますが、世界的な金融危機から経営環境は厳しさを増しております。このような経営環境の変化に対し、当社グループは、経営の基本戦略が共通する6つの事業領域を編成し、諸施策を実行することにより、企業価値の増大を図ってまいります。

また、企業の社会的責任に関しましては、企業倫理、環境活動、社会地域貢献に引き続き取り組むとともに、内部統制環境の整備にも努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成21年2月



ニッケグループ代表  
取締役社長

降井利光

繊維事業

衣料繊維製品

**梳毛繊維**は、産地需要の低迷による販売量の減少により、減収となりました。ニット糸も同様に販売量は減少しましたが、販売価格を改定したことにより、前期並みとなりました。紡毛糸は、産地需要の低迷するなかで販売価格が下落し、減収となりました。手編毛糸は商品開発に努め、前期並みを維持しました。

**紳士服**は、小売段階での購買意欲の冷え込みからスーツ販売量が減少し、減収となりました。

**婦人服**は、最高級素材である「MAF」が注目を集め、スポーツカジュアル素材である「ニックアクティブウール」も安定した受注を確保しましたが、百貨店を中心に小売段階での落ち込みが大きく、

減収となりました。

**スクールユニフォーム**は、景況感の著しい悪化に伴い、制服のモデルチェンジの動きが急速に鈍化しましたが、長年の課題であった価格改定がようやく市場に浸透したことや学校・業界に対する積極的な企画開発提案が一定の成果を収めたことなどにより、ほぼ前期並みとなりました。

**ビジネスユニフォーム**は、高品質・高付加価値素材の開発提案、QR製造対応など粘り強い活動を行いました。金融機関をはじめとした企業業績の悪化による大口更改案件の減少・延期や官公庁の予算削減など非常に厳しい市場環境が続き、減収となりました。

TOPICS

ニック Zqueウール



「安心・安全」とともにお届けする「地球に優しいウール素材」です

Zqueはニュージーランド産メリノウールのブランドで、環境保護に対する厳しいチェックをクリアした羊毛を使っています。その認証を取得した原料を、ニックの国内一貫生産システムで製品化したものが「ニックZqueウール」です。

トレーサビリティという点でも画期的な商品で、認証ナンバーをパソコン画面上で入力すると、どの地域のどこの牧場で誰が生産した原料で作られたものなのかエンドユーザーに分かる仕組みになっています。

ニックでは平成18年に展示会で発表して以来提案を重ね、現在ではスクール・ビジネスユニフォーム分野での採用が多数決定しています。

Zqueの特長

地球環境への配慮	健康と環境を志向する
原料品質への配慮、土壌・水質の管理、牧羊犬に対する飼育管理まで、環境保護に対するチェックを行っています。	
広範囲にわたる環境への配慮と管理のチェック	健康 地球環境 恒久的な維持 生命の安全 生活の安心

トレーサビリティ	安心と安全をお届けする
インターネットを通じて、個々の牧場と原料生産活動の背景を確認することができます。	
お客さま	どこの地域の牧場で？ インターネット どのような人々が？
<a href="http://www.zque.co.nz">www.zque.co.nz</a>	

## 繊維資材製品

**生活産業用資材は**、フェルトが衣料用芯地・手芸などの消費材分野で苦戦しましたが、バグフィルターなどの不織布が好調に推移し、増収となりました。

**寝装品は**、生産・流通の構造変化が続くなか、OEMを含む販売ルートの新規開拓や中国生産の拡大などを行ったことにより、増収となりました。

# AQUA SMOOTH

アクアスムーズ

## ソフト&スムーズ、「はっ水」未来形

滑らかな肌触りとドレープを描くやわらかさを実現した、

新・風合い + 安心機能のはっ水／はっ油加工。

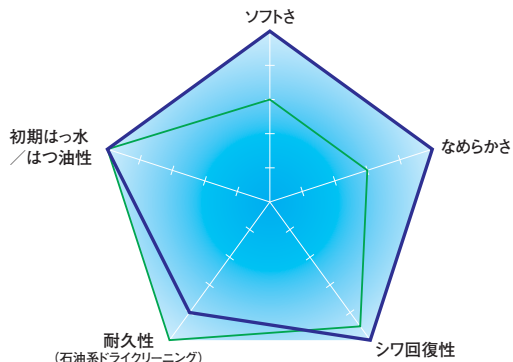
柔軟成分を配合した新たな加工技術を確立、

心地よさと安心機能が快適な

「アクア スムース」です。

■ 弊社耐久撥水加工素材

■ アクア スムース



## TOPICS

### アンビック社、 兵庫県COEプログラム推進事業に採択される

当社グループのアンビック株式会社における、ナノファイバー不織布フィルターの開発事業が「平成20年度兵庫県COEプログラム推進事業」に採択されました。

「兵庫県COEプログラム推進事業」とは、兵庫県が次世代成長産業の創出を図るため産学官からなる共同研究を支援するもので、今年度は23社の中から8社が選ばれました。

ナノファイバー不織布はIT・バイオ・環境分野に幅広い用途展開が期待される不織布であり、福井大学と共同で大きな成果をあげられるよう取り組んでまいります。



**カーペットは**、テニスサーフェスが好調で、家庭用途向けカーペットも新商品の投入や販売ルートの新規開拓により健闘しましたが、改正建築基準法の施行や不動産不況の影響を強く受けた業務用途向けカーペットが不調で、減収となりました。

以上の結果、繊維事業の当期の売上高は635億円弱と前期比3.7%減となりました。

## 非繊維事業

**ショッピングセンター事業は**、消費低迷に伴う賃料引き下げ要請が強いなかで、ほぼ前期並みを維持しました。

**スポーツ事業は**、テニスが新規会員の伸び悩みにより、減収となりましたが、ゴルフはイベントやスクールなどの営業活動が寄与し、更に天候にも恵まれ、増収となりました。

**乗馬・ペット関連事業は**、ほぼ前期並みとなりました。

**通信関連事業、介護事業、アミューズメント事業は**、携帯電話販売店の新規出店、前期に開始した小規模多機能居宅介護事業の通年寄与などにより、いずれも増収となりました。

**不動産事業は**、建設事業が低迷しましたが、大型の宅地分譲が成約し、増収となりました。

**エンジニアリング事業他は**、電源・計測器分野が低迷しましたが、自動車・エネルギー関連の設備投資が好調で、増収となりました。また、ラケットスポーツ用品は新商品の投入や海外での積極的な販売活動により、増収となりました。釣糸は原油高騰により釣人口が減少するなかで新商品の投入などにより、ほぼ前期並みとなりました。産業資材は自動車減産の影響を受け、減収となりました。

以上の結果、非繊維事業の当期の売上高は382億円弱と前期比3.6%増となりました。

## TOPICS

### ニッケパークタウン、コナミスポーツクラブ新築棟オープン

ニッケパークタウン(兵庫県加古川市)の本館で営業していました「コナミスポーツクラブ加古川」が、同館西隣に新築棟として10月4日にグランドオープンしました。歩行専用コース付き25m×6コースのプール・2面完備の大きなスタジオ・豊富な種類を揃えたマシンジム・露天風呂完備のリフレッシュゾーンなど充実の施設となっております。

外観  
北東面



1F  
プール





ニッケグループ中長期ビジョン(NN120ビジョン)

経営理念

“人と地球に「やさしく、あったかい」企業グループとして、  
わたしたちは情熱と誇りをもってチャレンジして行きます。”

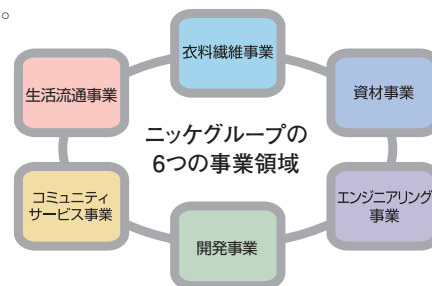
- ウールで培った技術の追求と環境への配慮により、新しい価値を創造します。
- 心を込めて人間家族や地域社会に貢献し、たしかな生活文化を創造します。

経営方針

- 社員の幸せを追求し、希望と生きがいの持てる企業グループを目指します。
- 企業価値の最大化を通して、顧客や株主との永続的な信頼関係を築きます。
- 研究開発を強化し、品質と感性・革新性に根ざしたNo.1の商品とサービスを提供します。
- 変化をチャンスと捉え、既存事業の改革と新規事業の開拓に挑戦します。
- 人材開発を重視し、各分野におけるプロフェッショナルとして行動します。

対処すべき課題

当社グループは「ニッケグループ中長期ビジョン(NN120ビジョン)」に基づき、経営の基本戦略が共通する6つの事業領域を編成し、以下の施策を実行してまいります。



■ 衣料繊維事業

強みである原料から織物までの一貫生産による品質と技術を更に強化し、高品質・高付加価値・高機能商品の提供と積極的な海外展開を推進します。

■ 資材事業

裾野の広い産業資材分野での成長を目指すとともに、積極的なM&A戦略により、事業規模の拡大を目指します。

■ エンジニアリング事業

設計能力と商品開発の強化、積極的なM&Aを推進し、事業規模拡大と収益の安定化を目指します。

■ 開発事業

グループ全体の資産の有効活用と価値向上を追求し、長期的な視点での「街作り」開発を推進することにより、資産価値の向上を図ります。

■ コミュニティサービス事業

“コミュニティ＝地域社会”に貢献する独自の「ニッケのサービス」を創出・提供することにより、本格的なサービス事業の展開を目指します。

■ 生活流通事業

戦略的ブランディングと生活文化を創造する商材開発によりその価値を高め、規模と収益の拡大を目指します。

また、2008年度より通称社名「ニッケ(NIKKE)」を採用し、研究開発と環境対策、グループ人財戦略の推進やブランドマネジメント機能の組立てに取り組み、企業価値の増大を図ってまいります。

連結貸借対照表 (平成20年11月30日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>[資産の部]</b>		<b>[負債の部]</b>	
流動資産	68,019	流動負債	38,283
現金及び預金	10,824	支払手形及び買掛金	13,596
受取手形及び売掛金	27,450	短期借入金	17,028
有価証券	246	1年以内に償還予定の社債	374
たな卸資産	27,112	未払法人税等	1,153
繰延税金資産	1,250	その他	6,130
その他	1,315	<b>固定負債</b>	<b>16,820</b>
貸倒引当金	△180	社債	933
<b>固定資産</b>	<b>58,623</b>	長期借入金	682
<b>有形固定資産</b>	<b>35,778</b>	繰延税金負債	1,437
建物及び構築物	22,672	退職給付引当金	4,102
機械装置及び運搬具	5,642	役員退職慰労引当金	138
土地	5,392	長期預り敷金・保証金	9,154
建設仮勘定	1,456	その他	371
その他	614	<b>負債合計</b>	<b>55,104</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>439</b>	<b>[純資産の部]</b>	
のれん	87	株主資本	68,675
その他	352	資本金	6,465
<b>投資その他の資産</b>	<b>22,405</b>	資本剰余金	4,542
投資有価証券	14,324	利益剰余金	61,760
長期貸付金	261	自己株式	△4,094
前払年金費用	5,402	評価・換算差額等	1,814
繰延税金資産	520	その他有価証券評価差額金	1,914
その他	2,169	繰延ヘッジ損益	△26
貸倒引当金	△273	為替換算調整勘定	△73
<b>資産合計</b>	<b>126,642</b>	少数株主持分	1,048
		<b>純資産合計</b>	<b>71,538</b>
		<b>負債及び純資産合計</b>	<b>126,642</b>

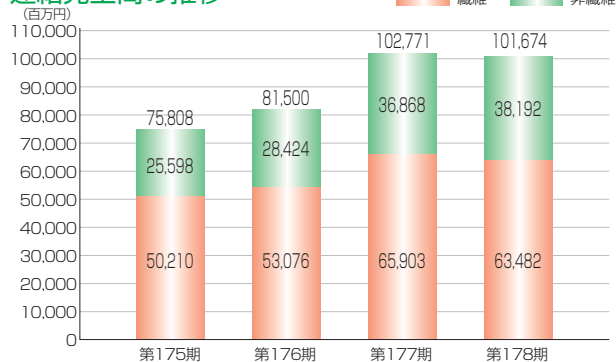
(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示している。

連結損益計算書 (平成19年12月1日から平成20年11月30日まで) (単位:百万円)

科目	金額	金額
売上	101,674	
売上原価	78,399	
売上総利益	23,275	
販売費及び一般管理費	16,290	
営業外収益	6,984	
営業外収入		
受取利息及び配当金	506	
その他の他	473	980
営業外費用		
支払利息	377	
その他の他	642	1,019
経常利益	6,945	
特別利益		
固定資産売却益	53	
固定資産受贈益	51	
補償金収入	147	252
特別損		
固定資産売却損	51	
投資有価証券売却損	320	
投資有価証券評価損	60	
減損損失	14	
退職給付制度一部終了損失	27	
構造改善費用	121	
店舗リニューアル費用	105	701
税金等調整前当期純利益	6,496	
法人税、住民税及び事業税	2,269	
法人税等調整額	188	2,457
少数株主利益		2
当期純利益	4,035	

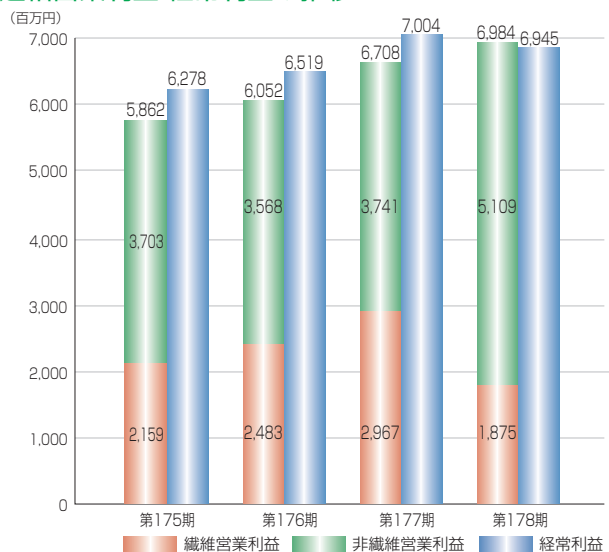
(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示している。

連結売上高の推移

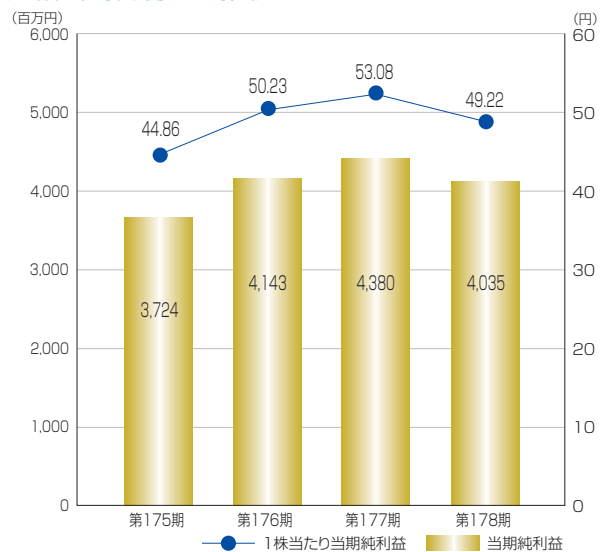




## 連結営業利益・経常利益の推移



## 連結当期純利益の推移



## 連結株主資本等変動計算書 (平成19年12月1日から平成20年11月30日まで)

(単位:百万円)

	株 主 資 本					評価・換算差額等				少数株主 持 分	純資産 合 計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合 計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	為 替 換 算 調 整 勘 定	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		
平成19年11月30日残高	6,465	4,535	59,206	△ 2,818	67,389	8,897	72	104	9,074	1,361	77,825
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当	—	—	△ 1,481	—	△ 1,481	—	—	—	—	—	—
当期純利益	—	—	4,035	—	4,035	—	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△ 1,303	△ 1,303	—	—	—	—	—	—
自己株式の処分	—	7	—	27	34	—	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の連結会計 年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△ 6,982	△ 99	△ 177	△ 7,259	△ 312	—
連結会計年度中の変動額合計	—	7	2,554	△ 1,275	1,285	△ 6,982	△ 99	△ 177	△ 7,259	△ 312	△ 6,286
平成20年11月30日残高	6,465	4,542	61,760	△ 4,094	68,675	1,914	△ 26	△ 73	1,814	1,048	71,538

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示している。

事業の種類別セグメント情報

(平成19年12月1日から平成20年11月30日まで)

(単位:百万円)

	繊維事業	非繊維事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益					
(1)外部顧客に対する売上高	63,482	38,192	101,674	-	101,674
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	50	312	362	(362)	-
計	63,532	38,504	102,037	(362)	101,674
営業費用	61,657	33,395	95,052	(362)	94,690
営業利益	1,875	5,109	6,984	-	6,984

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示している。

連結キャッシュ・フロー計算書

(平成19年12月1日から平成20年11月30日まで)

(単位:百万円)

科目	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	7,278
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,735
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,935
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 21
V 現金及び現金同等物の増減額	△ 414
VI 現金及び現金同等物の期首残高	11,112
VII 現金及び現金同等物の期末残高	10,698

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示している。

貸借対照表

(平成20年11月30日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>[資産の部]</b>		<b>[負債の部]</b>	
流動資産	38,409	流動負債	17,569
現金及び預金	4,146	支払手形	2,220
受取手形	2,627	買掛金	1,243
売掛金	11,306	短期借入金	6,822
有価証券	246	未払金	1,734
製品	8,038	未払費用	1,168
原材料	1,334	未払法人税等	727
仕掛品	4,263	預り金	2,722
販売用土地	1	その他	931
繰延税金資産	471	<b>固定負債</b>	<b>12,981</b>
短期貸付金	4,238	長期借入金	281
その他	1,749	繰延税金負債	1,148
貸倒引当金	△ 15	退職給付引当金	2,668
<b>固定資産</b>	<b>55,580</b>	長期預り敷金・保証金	8,747
<b>有形固定資産</b>	<b>25,764</b>	その他	136
建物	16,877	<b>負債合計</b>	<b>30,551</b>
構築物	2,517	<b>[純資産の部]</b>	
機械及び装置	2,342	株主資本	61,532
車両運搬具	14	資本金	6,465
工具器具及び備品	241	資本剰余金	5,103
土地	2,397	資本準備金	5,064
建設仮勘定	1,374	その他資本剰余金	38
<b>無形固定資産</b>	<b>64</b>	<b>利益剰余金</b>	<b>54,053</b>
ソフトウェア	23	利益準備金	1,616
その他	41	その他利益剰余金	52,437
<b>投資その他の資産</b>	<b>29,750</b>	<b>自己株式</b>	<b>△ 4,090</b>
投資有価証券	13,620	<b>評価・換算差額等</b>	<b>1,905</b>
関係会社株式	5,214	その他有価証券評価差額金	1,927
出資金	12	繰延ヘッジ損益	△ 22
関係会社出資金	2,328	<b>純資産合計</b>	<b>63,437</b>
長期貸付金	3,786	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>93,989</b>
破産・更生債権等	377		
長期前払費用	20		
前払年金費用	5,402		
その他	1,061		
貸倒引当金	△ 1,972		
投資損失引当金	△ 100		
<b>資産合計</b>	<b>93,989</b>		

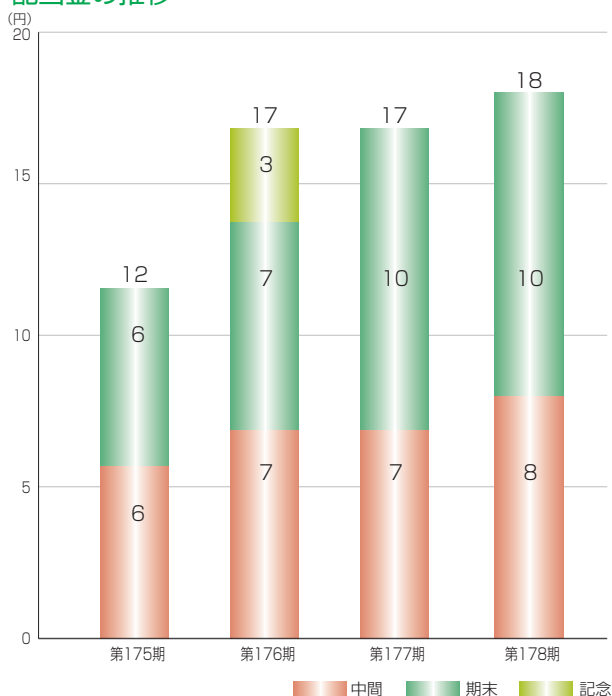
(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示している。

## 損益計算書 (平成19年12月1日から平成20年11月30日まで) (単位:百万円)

科目	金額	
売上		41,819
売上総利益		31,710
販売費及び一般管理費		10,109
営業外収益		5,189
受取利息及び配当金	1,196	
その他	344	1,541
営業外費用		
支払の利息	136	
その他	457	593
経常利益		6,136
特別利益		
固定資産売却益	26	
固定資産受贈益	51	
補償金収入	147	224
特別損失		
固定資産売却損	26	
投資有価証券売却損	320	
投資有価証券評価損	24	
関係会社株式売却損	2	
関係会社株式評価損	95	
関係会社貸倒引当金繰入	550	
減損	14	
退職給付制度一部終了損失	27	
構造改善費用	86	
店舗リニューアル費用	105	1,252
税引前当期純利益		5,109
法人税、住民税及び事業税	1,583	
法人税等調整額	171	1,754
当期純利益		3,355

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示している。

## 配当金の推移



## 株主資本等変動計算書 (平成19年12月1日から平成20年11月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本							評価・換算差額等				純資産合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益		評価・換算差額等合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金合計						
平成19年11月30日残高	6,465	5,064	31	5,096	1,616	50,563	52,179	△2,814	60,926	8,857	△42	8,814	69,741
事業年度中の変動額													
剰余金の配当	-	-	-	-	-	△1,481	△1,481	-	△1,481	-	-	-	-
当期純利益	-	-	-	-	-	3,355	3,355	-	3,355	-	-	-	-
自己株式の取得	-	-	-	-	-	-	-	△1,303	△1,303	-	-	-	-
自己株式の処分	-	-	7	7	-	-	-	27	34	-	-	-	-
積立金の積立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
積立金の取崩	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△6,929	20	△6,909	-
事業年度中の変動額合計	-	-	7	7	-	1,874	1,874	△1,275	605	△6,929	20	△6,909	△6,303
平成20年11月30日残高	6,465	5,064	38	5,103	1,616	52,437	54,053	△4,090	61,532	1,927	△22	1,905	63,437

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示している。



●「ニック全日本テニス選手権83rd」に特別協賛

 **ニック全日本テニス選手権 83rd**

当社グループ事業と関連のあるテニスの支援と企業イメージ向上を目指し、財団法人日本テニス協会主催「ニック全日本テニス選手権83回大会」において前年に引き続き特別協賛(冠スポンサー)を行いました。同大会は83回の伝統と“天皇杯”(男子シングルス)“秩父宮妃記念盾”(女子シングルス)を競う名実ともに国内最高峰のテニス大会で、昨年11月9日から16日に東京有明で開催されました。

今大会には日本テニス協会名誉総裁でもあらせられる秋篠宮殿下がご来場され、11年ぶりの皇室の観戦を賜り大会に華を添えられました。

今後も「めざせ世界を!ニックがサポートします」をスローガンに本大会を支援してまいります。



●当社専属

**「中村藍子選手」2008年の活躍**

テニススポーツ界の発展に向けて、当社は2005年10月から女子プロテニスプレーヤーの中村藍子選手と専属契約を締結しております。昨年の「ニック全日本テニス選手権83回大会」では、プロテニス会へ復帰したクルム伊達公子選手を相手に、前年度チャンピオンとして白熱の戦いを展開するなど、テニス界の名場面を演出しました。今後も日本を代表する選手としての活躍が期待されています。



- 世界ランキング  
139位 (WTA) (平成21年2月2日現在)
- 日本ランキング  
3位 (JOP) (平成20年12月31日現在)

●定年年齢の延長

**65歳定年制の実施**

厚生年金の支給開始年齢の引き上げなど、60歳以降のライフスタイルは変化してきています。当社では60歳を迎えた従業員がライフスタイルの変化にスムーズに対応できるよう雇用を確保し、厚生年金の引き上げに合わせて定年年齢の延長を行うこととしました(平成21年4月1日以降の60歳到達者からの定年年齢を65歳とし、経過措置として平成20年4月1日以降の60歳到達者から定年年齢を64歳とする)。

これにより60歳以降の雇用と収入を安定させ従業員が安心して働ける制度とし、併せてスムーズな世代の交替、技能の継承の実現を目指してまいります。

## 第30回 ニッケ Pure Heart エッセー大賞/イラスト大賞

次代を担う若者を応援する文化支援事業として

「ニッケPureHeartエッセー大賞・イラスト大賞」を2006年より実施しています。

エッセー大賞は、「等身大のPureHeart」をテーマに800字程度の日本語エッセーを募集しました。今回も「高校以上の部」「中学の部」の二部門での審査を行いました。応募総数は33,100作品、特別審査員には乙武洋匡氏を迎え、予備審査により選ばれた学生たちとトークセッションを開催しました。



### エッセー大賞



タイトル「また君に会いたい」  
池田尚広さん 東京都八王子市

一方、イラスト大賞は2005年まで続けられた「羊のイラストキャンペーン」を発展させた年齢不問の企画として、エッセー大賞と同テーマで募集しました。子どもから大人まで思い思いの夢や思い出を描いた心温まる4,000作品の応募がありました。



### イラスト大賞



タイトル「トリノキ」  
瀬戸清文さん 千葉県市川市

エッセー・イラストとも、大賞をはじめとする入賞作品は当社ホームページに掲載し、また、今年3月には『PureHeartエッセー・イラスト集Vol.3』のタイトルにて出版しますので、是非ご覧下さい。

## 第20回記念加古川マラソン大会

第20回記念加古川マラソン大会が開かれました。

当社発祥の地、兵庫県加古川市で当社単独協賛「第20回記念加古川マラソン大会」が開催されました。同大会は平成2年から20回を数え、参加人数も年々増えており、全国的な認知度も増しております。当社も第1回から単独協賛を行っています。

第20回においては、招待選手に「2008北京オリンピック」10,000mに出場した洪井陽子選手と、「2008名古屋ハーフマラソン」において姉妹で1、2位を決めた大南博美・敬美選手を迎え、

4千6百人ものランナーが、日本陸連公認の豊かな自然を満喫できる河川敷コースを快走しました。



## ■ 会社概況

社名	日本毛織株式会社
設立	1896年(明治29年)12月3日
資本金	6,465,692,900円
従業員数	706名(連結4,379名)
営業品目	毛糸・毛織物その他各種繊維製品製造加工販売、 ショッピングセンター、スポーツ、賃貸事業
当社ホームページ	http://www.nikke.co.jp

## ■ 主な事業所

本店	神戸市中央区明石町47番地
本社	大阪市中央区瓦町3丁目3番10号
東京支社	東京都中央区八丁堀1丁目2番8号
印南工場	兵庫県加古川市米田町船頭440番地
一宮工場	愛知県一宮市今伊勢町本神戸字河原1番地
岐阜工場	岐阜県各務原市鷺沼各務原町8丁目7番地
ニッケパークタウン	兵庫県加古川市加古川町寺家町173番地1
ニッケコルトンプラザ	千葉県市川市鬼高1丁目1番1号

## ■ 取締役、監査役および執行役員

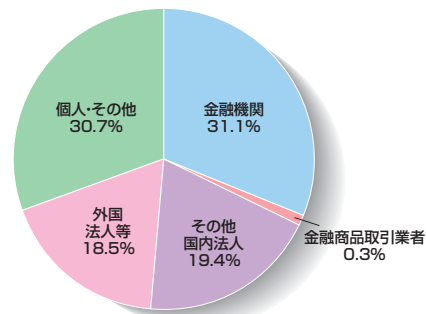
取締役会議長	谷 憲 治	常勤監査役	松 村 博 昭
取締役社長	降 井 利 光	常勤監査役	星 田 和 紘
取締役常務執行役員	佐 藤 光 由	社外監査役	雀 部 昌 吾
取締役常務執行役員	瀬 野 三 郎	社外監査役	大 江 眞 幸
取締役常務執行役員	栗 原 信 邦	執行役員	迫 間 満
取締役	山 本 義 行	執行役員	山 本 文 彦
社外取締役	丹 羽 一 彦	執行役員	岩 浜 順 二
社外取締役	近 藤 定 男	執行役員	小 河 原 茂
		執行役員	藤 原 典 典
		執行役員	犬 伏 康 郎

## ■ 主な関係会社

アカツキ商事株式会社	東京都墨田区両国2丁目1-3
株式会社ナカヒロ	大阪府大阪市中央区安土町3丁目5-6
アンビック株式会社	兵庫県姫路市城東町180
株式会社ニッケ機械製作所	兵庫県加古川市加古川町寺家町269-1
青島日毛織物有限公司	中国山東省青島市城陽区双元路青大工業園
江陰日毛紡織有限公司	中国江蘇省江陰市顧山鎮北国老錫張路96号

## ■ 株式の概況

株主数	10,356名
発行可能株式総数	192,796,000株
発行済株式総数	88,478,858株



## 大株主

株主名	所有株数
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	6,099,390株
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,014,417株
株式会社三井住友銀行	3,991,000株
株式会社みずほコーポレート銀行	3,988,000株
帝人株式会社	2,905,000株
日清紡績株式会社	2,763,000株
日本生命保険相互会社	2,183,285株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	2,123,000株
株式会社竹中工務店	2,000,000株
株式会社損害保険ジャパン	1,690,000株

※当社の保有する自己株式7,523,424株は上記の表には含めておりません。



## ■株主メモ

事業年度	毎年12月1日から翌年11月30日まで
定時株主総会	2月下旬
株主総会・期末配当金基準日	11月30日
中間配当金基準日	5月31日
証券コード	3201
公告方法	電子公告 <a href="http://www.nikke.co.jp/investor/koukoku/index.html">http://www.nikke.co.jp/investor/koukoku/index.html</a> (電子公告できない場合は神戸新聞に掲載します。)
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	〒530-0004 大阪市中央区島島浜1丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話(通話料無料)	0120-094-777(土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。  
電話(通話料無料) 0120-244-479(本店証券代行部)  
0120-684-479(大阪証券代行部)  
ホームページアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 単元未満株式(1~999株の株式)の 買取請求ならびに買増請求のご案内

当社は1,000株を1単元とする単元株制度を採用しており、単元未満株式(1~999株)については、証券会社等を通じての売買ができません。単元未満株式をご所有されている株主様は、ご希望に応じて次のいずれかの方法によって単元未満株式を整理することができます。

### 1 買取請求

ご所有の単元未満株式を当社に対して買取請求していただく方法。

#### 【例】

例えば、株主様が50株を所有している場合、当社が50株の買取りを行い、売却代金をお受取いただけます。

### 2 買増請求

単元株式(1,000株)までの不足分を当社に対して買増請求していただき、単元株式とする方法。

#### 【例】

例えば、株主様が850株所有している場合、単元株式(1,000株)にするために必要な150株を当社から購入していただけます。

ご希望の株主様は、お取引のある証券会社までお問い合わせください。また、特別口座に記録された株式につきましては、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)へお申し出下さい。上記の買取・買増請求手続きに関する手数料は無料となっておりますので、是非ご利用ください。



## WEB/IR情報

ホームページをリニューアルしました。

最新のIR情報は当社ホームページでもご覧いただけます。

URL <http://www.nikke.co.jp/investor/index.html>

人と地球に「やさしく、あったかい」企業グループを目指して

**ニッケグループ**

日本毛織株式会社

#### 通称社名について

繊維本業の会社から事業複合体への変革を進めるなかで、守るべき歴史を忘れないように「日本毛織」の正式名称は残しました。

通称社名「ニッケ (NIKKE)」は、事業複合体として変革の中で遠心力と求心力を失わないように、ニッケグループ全体のシンボルイメージを統一する役割を担っています。



知るほどなるほど、元気なニッケが見えてくる。

<http://www.nikke.co.jp>

表紙に使用している作品は、1930年代に当社ポスターに使用された奥山儀八郎作の版画複製です。



大豆油インクを使用しています。